

## 妊婦さんの新型コロナウイルス感染症 感染症対策、妊婦健診受診時のお願い



妊娠中の女性は妊娠していない同年代の女性と比べて、新型コロナウイルス感染症が重症になりやすい事や、早産のリスクを高めることなどが分かってきました。正しい知識をもって感染予防対策をとり、自らと赤ちゃんの生命を守りましょう。そうすることで、妊娠や出産に関わる他の人たちを感染から守ることにつながります。

### 他の人と 十分な距離を取る!



「3密」と言われる、状況を徹底的に避けましょう。

1. 換気の悪い「密」な空間
2. 人がたくさん集まる（密集）するところ
3. 手の届く範囲での会話、運動など（密接）

地域の流行状況によっては不要不急の外出は控えましょう。

こまめに手を洗いましょう。石鹸で手洗いかアルコール消毒も有効です。

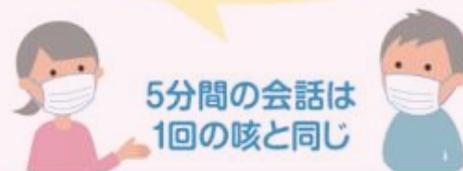
- ・ 家に帰ってきた時
- ・ 食事の前
- ・ トイレの後
- ・ 鼻水に触れたり、咳・くしゃみを手でおさえた後
- ・ 外出先で、人がよく触れる場所に触れた後



### 会話をするときは マスクをつけましょう!

マスクを着用しましょう。特に病院へ来たときには常にマスクを着用しましょう。

お互いにマスクを着けることで、お互いを感染から守ることができます。



妊娠中は毎日体温を測りましょう。体の症状を記録しましょう。

熱があったり、喉の痛み、鼻水、鼻詰まり、咳、下痢などの症状があったときは、すぐには病院を受診せずに、まずは病院や保健センターに電話で相談しましょう。一緒に住んでいる家族に同じような症状がある時も、病院を受診する前に相談しましょう。妊婦健診の受診前も同じです。適宜医療通訳を利用しましょう。

